

〔議案第87号〕

鹿角市空き家等の適正管理に関する条例の全部改正について
不在者等に対する管理人の選任の請求について

問 不在者等に対する管理人の選任の請求について規定されているが、建物の所有者が財産放棄した場合には、建物の除却等を市で行うことが可能となるのか。

答 土地等を売却できるケースであれば、市が申立人となり相続管理人を選任して除却することが可能な場合もあるが、売却できないケースでは除却費用が市の負担となることから対応は困難であると考えている。



空き家の適正管理で住みよい環境づくりを

〔議案第91号〕

令和元年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）
放課後児童健全育成事業

問 建物借上料及び施設改修工事費の内容は。

答 建物借上料は、令和2年3月から放課後児童クラブとして利用する建物2カ所分の借上料である。また、施設改修工事費は、旧村木小児科内科医院を放課後児童クラブとして利用するために必要な改修工事を行うものである。

〔議案第94号〕

鹿角市印鑑条例の一部改正について
成年被後見人の印鑑登録について

問 条例改正により成年被後見人の印鑑登録が可能となったのか。

答 改正以前の条例においては、成年被後見人は一律に登録不可とされていたが、今回の条例改正により申請者である成年被後見人の意思能力を確認した上で、登録資格の有無を判断できるように改めるものである。

〔1陳情第15号〕

医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書提出についての陳情

願意妥当であるため「採択」すべきとの意見と、「専門分野に分かれるため医師が不足することはあるだろうが、国では医師数を増やす方向で動いているため趣旨採択とすべき」との意見が出され、採決の結果、採択すべきものとして決した。

〔1陳情第17号〕

深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退など地方における公立・公的病院のおかれている医療事情の状況把握を欠いたまま、国の基準に基づく一方的な再編・統合は行わないことを国に求める意見書提出についての陳情

願意妥当であるため「採択」すべきとの意見と、「県内の病院などでも再編議論が必要なものが発表されたが、国ではそれがすぐに病院をなくするものではないとのことであるため、趣旨採択とすべき」との意見が出され、採決の結果、採択すべきものとして決した。

〔議案第81号〕

指定管理者の指定について
（鹿角市中滝ふるさと学舎）
指定管理者の指定について

問 現行の法人はこれまで目新しい企画は行ってきたか。

答 キャンプ利用者が増加していることを受けてバーベキュー小屋を造るなど、状況に合わせ様々な事業を展開している。また来年度に向けて夜の時間帯にカフェの営業を検討しているとも伺っている。

問 次回の指定管理者の指定の期間を5年から3年に見直しているが、若い世代を人材として取り込んでいくことについて、現行の体制の中でどのように考えているか。

答 3年の間で新たな人材を少しずつ取り入れていく方向で法人と話し合いをしている。また、法人からは今後は移住者等との交流の機会も増やしていきたいと伺っており、市としても助言を行いながら進めたいと考えている。

〔議案第91号〕

令和元年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）
中小企業振興資金融資保証料補給金

問 融資資金の内訳並びに資金の使途は。

答 「中小企業振興資金」は、市内で事業を営む事業者の方が必要とする資金を調達し、振興を図ることを目的とする融資制度である。一般資金及び小規模企業者資金における今年度の融資残高は約25億円を見込んでおり、創業支援資金における今年度の融資残高は約5,100万円を見込んでいる。また、当融資資金の使途としては運転資金の借り換え需要が多い。



冬期間の安全で円滑な道路交通を図る

〔議案第91号〕

令和元年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）
外国人観光客誘客促進事業費補助金

問 今回の増額補正による補助金申請を含め、年間の利用実績はどの程度と見込まれるか。

答 12月3日時点で、タイからの観光客194名分の申請を受け付けているが、今後のさらなる利用者増により、今年度は300人程度の利用者数を見込んでいる。

〔議案第91号〕

令和元年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）
除雪委託料

問 除雪委託料の増額補正が見受けられるが、あらかじめ余裕のある予算措置はできないか。

答 年間の降雪量を確定できないことから降雪予報などを参考に予算措置しているが、想定以上の降雪があり、予算の不足が見込まれる場合には補正予算により適切に対応してまいりたい。